

福岡ドームの栄光

日本で最も人気の高いスポーツは野球であろう。長い歴史の中で数々の手に汗握る名勝負が繰り広げられてきた。そしてその中に多くの名選手が生まれてきた。人生と共に生きてきた野球の魅力は多くの人に夢とロマンを与えてきたに違いない。

そうした名選手の中の一人に王貞治がいる。私の生まれ育った家から5分ほどの所にある神戸市内の西代球場へ初めてプロ野球を見に行った。53年前のことである。読売巨人軍の開幕前のオープン戦であった。満員の観客は入団したばかりの高卒の選手に注目が集まっていた。それは早稲田実業在学中、甲子園でノーヒットノーランを達成するなど高校球児のトップスター王貞治であった。

期待を一身に背負ったもののプロの熱い壁に阻まれ「三振“王“」の異名を取るまでになる。

しかし弛まぬ努力は人間を変える。勝ち取った栄光は「ホームラン”王“」として756号の世界新記録を樹立。さらに868号の記録を残す。時の首相から国民栄誉賞が贈られた。

その後の野球人生は巨人、ダイエー、ソフトバンクとホークスの監督を務める中、第1回ワールド・ベースボール・クラシック（世界大会）の日本監督に。持って生まれた強運とはいえここでも奇跡を生み初代王者の栄冠をつかんでいる。福岡ドームを前にして私には王監督の姿が重なって見えてくる。威風堂々の外観。これからも素晴らしいメイクドラマを！撮影 2012年冬

